

桜並木の再整備を行います

たまプラーザ駅前桜並木は、整備されてから45年が経過しました。
健全な桜並木を維持するために、並木の再生を行います。

●再整備の目的

①適正な樹木間隔を確保します

②歩行スペース、車両通行スペースを確保します

③通行の安全を第一に考えて樹木を配置します

④地域の皆様が永く楽しめる並木を形成します

●サクラ並木の概要

- ・位置：たまプラーザ駅前～美しが丘公園
- ・現況品種：ソメイヨシノ（推定樹齢50年）
- ・本数：約190本
- ・延長：約1.0km

現況



現況



ゾーン A 整備イメージ図



ゾーン B・C 整備イメージ図

たまプラーザ駅前桜並木再生計画

現在の課題を解決し、健全に樹木が育つ安全な街路を作ります

美しが丘公園
(ソメイヨシノ、シダレザクラなど)

ゾーンA：ソメイヨシノ

- 現況
 - ・歩道が広く樹木の生長するスペースがある
- 整備内容
 - ・活力を与えるための手当を施す（土壌改良、剪定、根の更新など）
 - ・歩道が広いので、植栽株を一回り大きくする
 - ・並木を維持しつつ、樹勢の悪いソメイヨシノの植え替えを進めていく

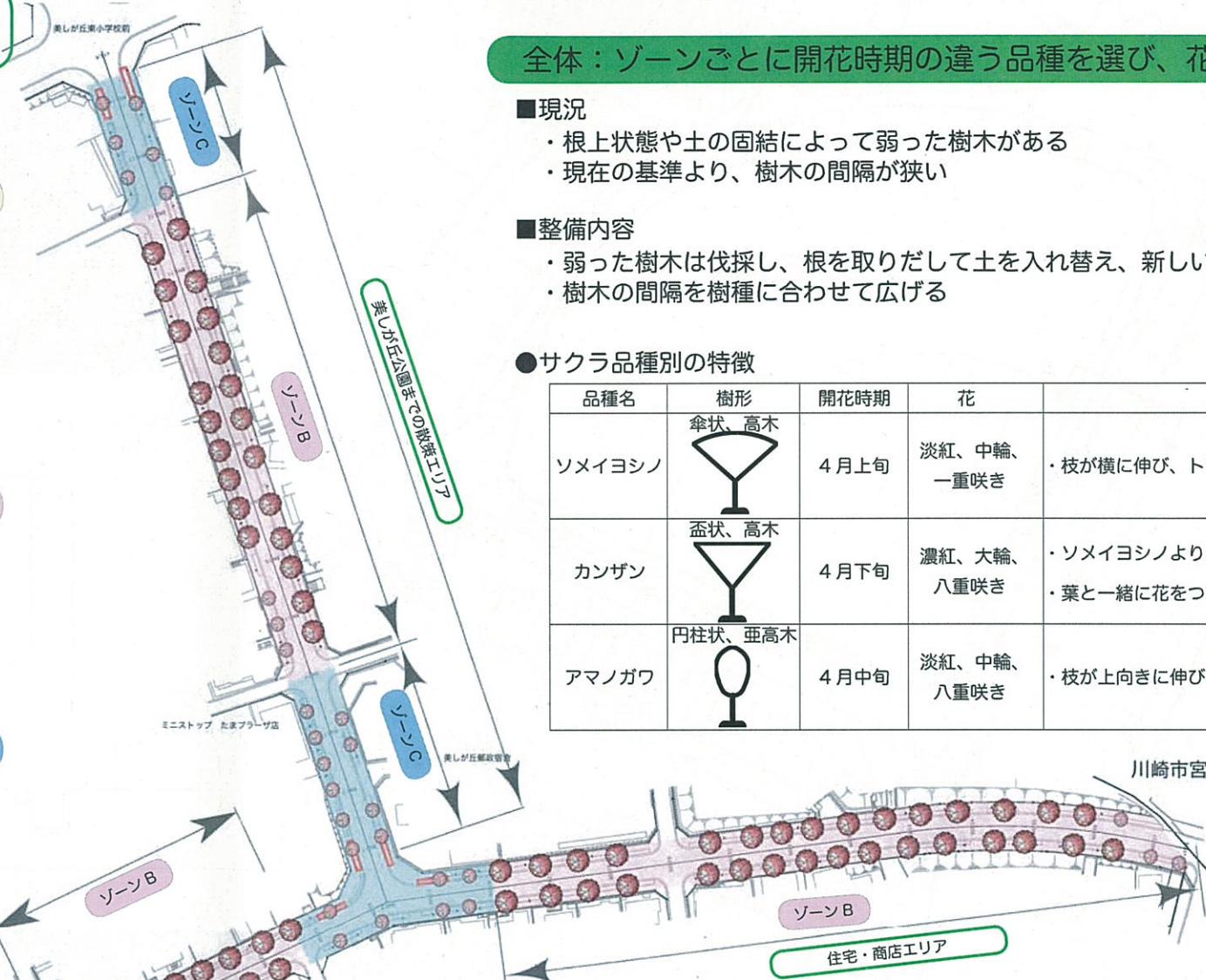
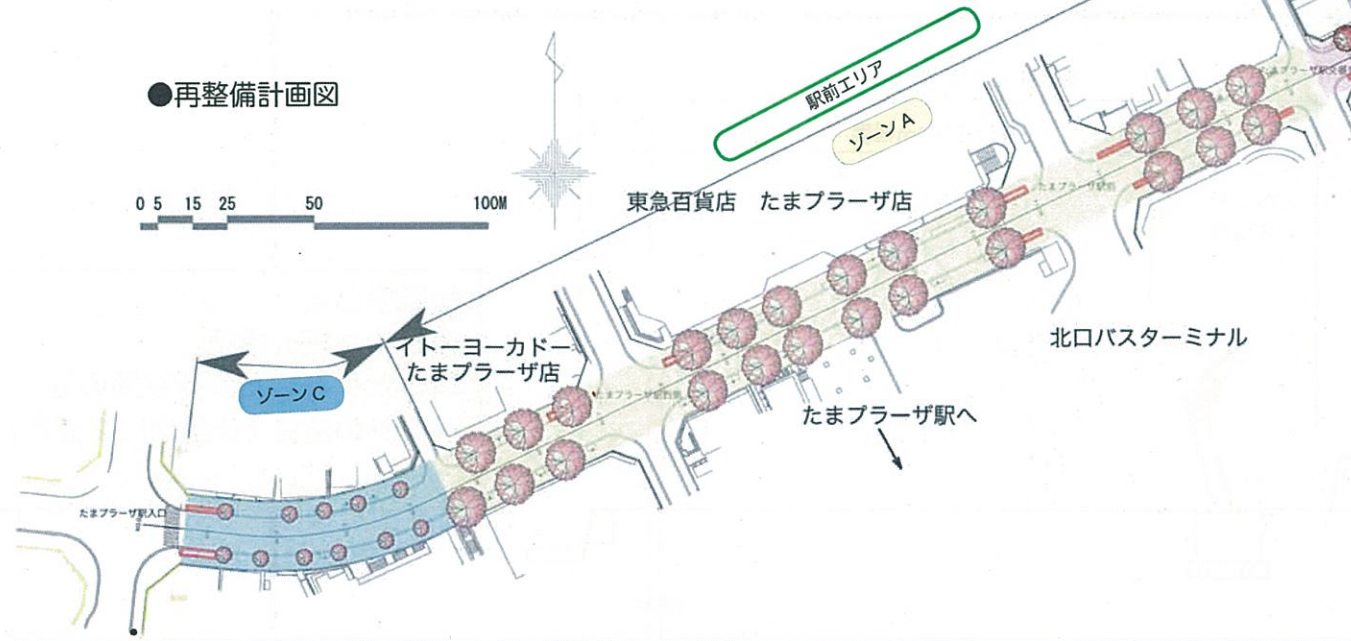
ゾーンB：カンザン

- 現況
 - ・歩道が狭く、ソメイヨシノの生育には窮屈で不向きである
- 整備内容
 - ・カンザンに植え替え、歩行エリアを確保する

ゾーンC：アミノガワ

- 現況
 - ・大きな交差点で、特に見通しを確保する必要がある
- 整備内容
 - ・アミノガワに植え替え、見通しを確保する
 - ・安全上、交差点や信号機などと樹木は、一定の距離を確保する

●再整備計画図



全体：ゾーンごとに開花時期の違う品種を選び、花を長く楽しめる

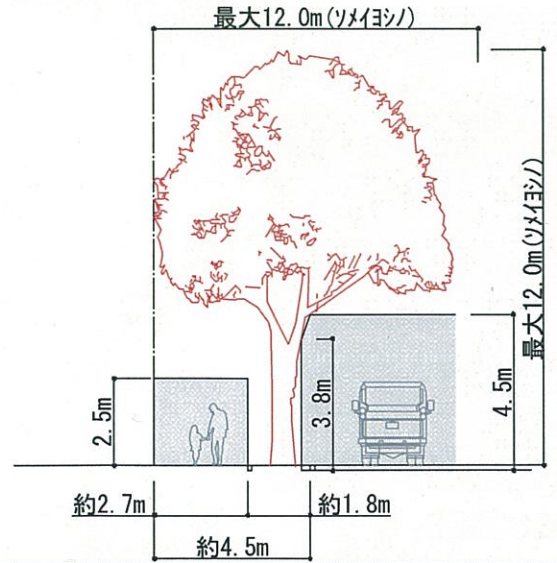
- 現況
 - ・根上状態や土の固結によって弱った樹木がある
 - ・現在の基準より、樹木の間隔が狭い
- 整備内容
 - ・弱った樹木は伐採し、根を取りだして土を入れ替え、新しい樹木を植える
 - ・樹木の間隔を樹種に合わせて広げる

●サクラ品種別の特徴

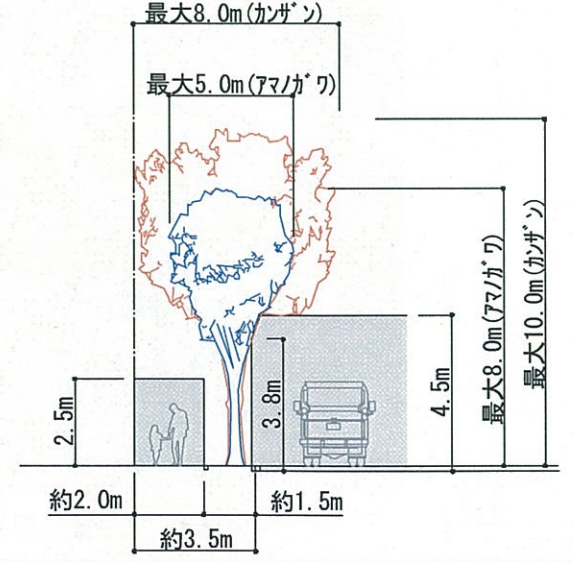
品種名	樹形	開花時期	花	特徴
ソメイヨシノ	傘状、高木	4月上旬	淡紅、中輪、一重咲き	・枝が横に伸び、トンネル状の並木になる
カンザン	盃状、高木	4月下旬	濃紅、大輪、八重咲き	・ソメイヨシノよりコンパクトな樹形 ・葉と一緒に花をつける
アミノガワ	円柱状、垂高木	4月中旬	淡紅、中輪、八重咲き	・枝が上向きに伸びる樹形で、横に広がりにくい

- 凡例
- ソメイヨシノ
 - カンザン
 - アミノガワ

●断面イメージ図（ゾーンA）



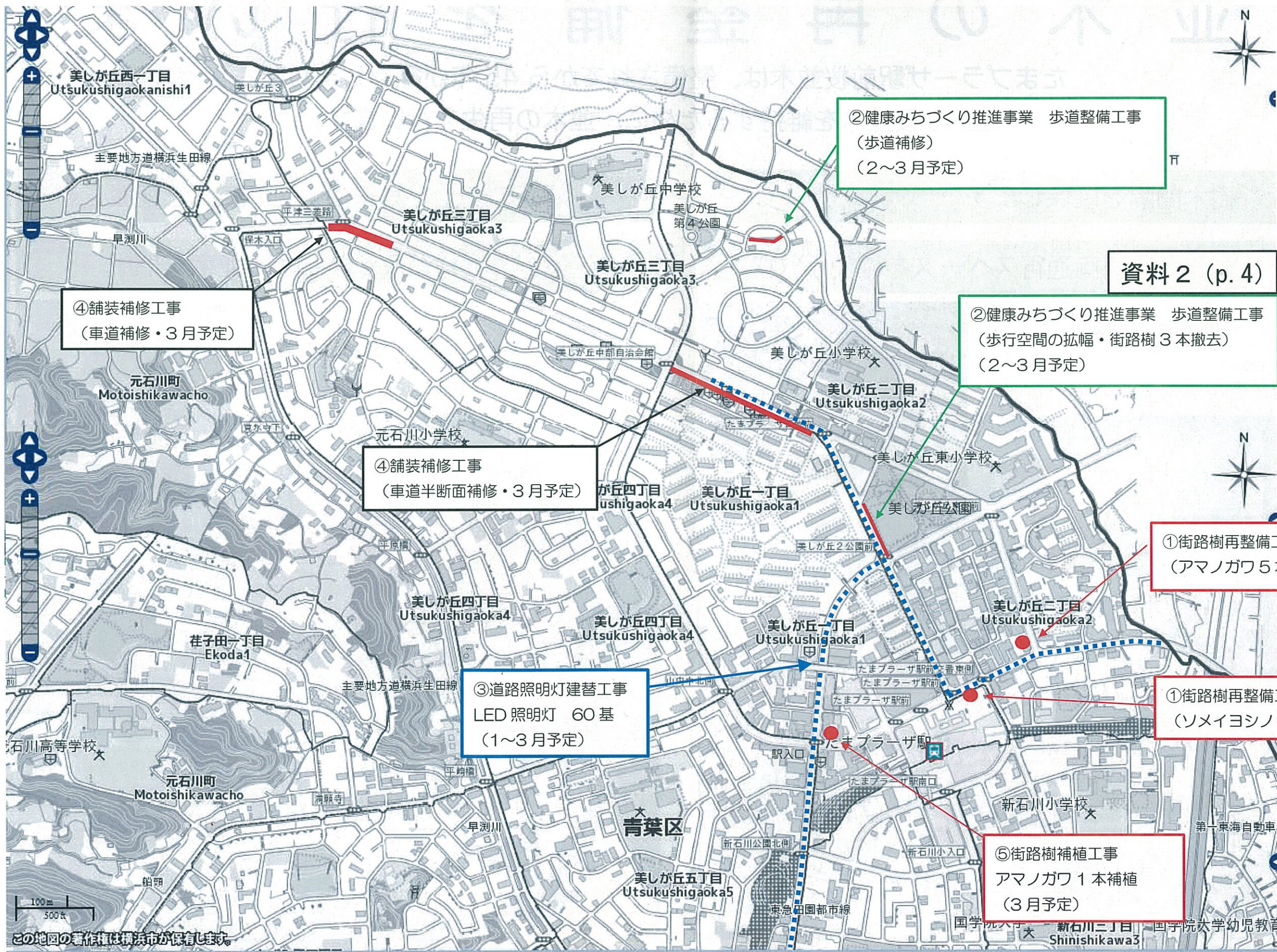
●断面イメージ図（ゾーンB・C）



問い合わせ先：青葉土木事務所 道路係 TEL:045-971-2300

平成28年2月～3月の道路工事予定（美しが丘地区）

平成28年1月30日
青葉土木事務所



資料2 (p.4)

資料1 (p.2)

この地図の著作権は青葉土木事務所が保有しています。